

2020年9月

第120号

ぱれっと



(株)北日本ベストサポート
Tel. 018-883-1888

「戦後75年」を考える

今年は「コロナ問題」で夏祭りや花火大会など多くのイベントが中止となっている。例年以上に各地で猛暑となっており、時にはゲリラ豪雨で水害事故も発生した。こうした中、太平洋戦争終結後75年が経過し、戦争の記憶が次第に風化されつつある。年配の語り部たちが戦争の悲惨さを伝え平和の尊さを訴えている。

先の戦争の犠牲者は約310万人にも達しガダルカナル島の戦いやインパール作戦など数多くの無謀で悲惨な人命を軽視した作戦を展開した日本軍の指導者の責任は重いものがある。

九州鹿児島知覧には「知覧特攻記念館」がある。そこには特攻隊として命を捧げた20歳前後の多くの若者の国を思い家族に感謝し綴られた遺書が展示されている。その一つ一つはその魂が語りかけているようで涙をそそられる。

一方、米国軍による東京大空襲、広島・長崎への原子爆弾投下など多くの民間人が犠牲になった。原子爆弾投下は広島にはウランで製造された爆弾、長崎にはプルトニウムで製造された爆弾が使用されたと言われており、米国では戦争終結させるために原子爆弾を使用したとしているが反撃能力の無い日本をターゲットとして無理矢理に史上初の原子爆弾投下となった可能性がある。

また、日本が降伏した以降にソ連軍が南下し旧満州を中心に日本の旧軍人・軍属約60万人を捕虜として連行しシベリアなど極寒・食料不足の中で過酷な労働に従事させ約6万人が犠牲になったと伝えられている。

さらに、満洲や朝鮮からの帰国の際にもソ連軍を中心に想像を絶する略奪や女性の人権無視の行為が繰り返され地獄の逃避行が繰り返された。作家の藤原ていさん(藤原正彦さんのお母さん)は朝鮮からの逃避行について「流れる星は生きている」という小説の中でその時の模様を詳しく記述しているが、五木寛之さんは人間の行為とは思えないことが繰り返され「とても小説として書く事ができない」と述べている。

このように人間が鬼と化し、地獄の底で生活するような事態が当たり前のように繰り返られるのが「戦争」なのである。

私たちは平和を享受し、そうした戦争についても昔のこととして捉えがちであるが、地球のどこかで戦争・紛争が今でも繰り返られている現実も忘れてはならない。中国や北朝鮮など近隣諸国の軍備拡大も気にかかるところである。

愚かな戦争は二度と繰り返してはならないし、常に平和を希求し続けなければならない。しかし、万が一にでも日本に危害が及ぶ攻撃が加えられる事態が生ずることのないようにしっかりと防衛の心構えと備えを確かなものとしておく必要があると思う。



菜 根 譚

(中国古典の知恵に学ぶ)

どうにもならないことを悩まない

まだ何も結果が出ていない仕事の先行きについて、あれこれ悩むよりも、すでに軌道に乗っている仕事をどう進めるかを考えてみるべきだ。

また、過去の失敗についてくよくよ悩むよりは、同じ失敗を繰り返さないためにはどうしたらよいのか、前向きに考えるべきである。

(前集 80)

極端に走らない

志は高くなければならないが、現実離れしてはよくない。

思考は注意深くめぐらさなければならぬが、細かいことにとらわれすぎてはならない。

感情はあっさりしているほうがいいが、あまりに冷たくなってしまてはいけぬ。

信念は厳しく守らなければならぬが、あまりにかたくなになるのはよくない。

(前集 81)

心冷たい人間にならない

人からどんなに深い恩を受けても報いようとしなくせに、些細な恨みに対しては、必ず仕返しする。

他人の悪事や悪評を聞けば、本当かどうかわからなくてもすぐ信じるくせに、善行やよい評判については、事実であっても疑ってかかる。

このような人は、極めて心の冷たい人間だ。

こんな薄情な人間にならないよう、くれぐれも気をつけよう。

(前集 191)



正岡 子規 (俳人・歌人・国語研究家)

- 慶応3年9月17日(1867年) 伊予国温泉郡(現愛媛県松山市)松山藩士正岡常尚と八重の長男として生まれた。
- 明治5年(1872年) 父常尚死去。
- 明治6年(1873年) 寺子屋式の末広学校に通う。
- 明治16年10月(1883年) 東京へ出て共立学校(現開成高等学校)入学。
- 明治17年(1884年) 東京大学予備門(第一高等中学校)入学。
俳句を作り始める。
- 明治20年(1887年) 松山三津浜の宗匠、大原其戎に句稿を見せる。その年、其戎が主宰する「真砂の志良辺」に俳句が掲載される。
- 明治23年(1890年) 帝国大学文科大学哲学科入学。
- 明治25年(1892年) 大学退学。日本新聞社入社。
- 明治28年(1895年) 日清戦争に記者として従軍。帰路咯血。
- 明治29年1月(1896年) 子規庵で句会。
- 明治31年3月(1898年) 子規庵で歌会。
- 明治35年9月19日(1902年) 肺結核で死去。享年34歳

辞世の句

「糸瓜咲きて痰のつまりし仏かな」
「をとゝひのへちまの水も取らざりき」

オススメの BOOK



『わが敵「習近平」』

作者 楊 逸(ヤン・イー)

出版社 飛鳥新社

作者は1964年中国ハルビン生まれ。1987年留学生として来日。お茶の水女子大学卒。現在日本大学芸術学部教授。2008年「時が滲む朝」で芥川賞受賞。

本書は厳しい書名となっているが、中国文化大革命により家族が下放となり一家が塗炭の苦しみを味わった。

特に「習近平批判の書」ではなく、広く中国共産党の政策について疑問符を突きつけている。現在大問題となっている「コロナ」を武漢生物兵器として位置付け「中国が世界に対して仕掛けた戦争だ」としている。

備えて安心！個人賠償責任保険

賠償責任保険とは、偶然な事故によって他人の身体や財物に損害を与えたために法律上の賠償責任を負うことになった場合、その損害を補償する保険です。

個人賠償責任〔特約〕の事故例Q&A

住宅の所有・使用・管理に起因する事故

Q台風による強風で屋根瓦が飛散し、隣家の自家用車に傷をつけた。

A台風などの自然災害による事故によって他人に損害を与えた場合には、事故の発生について予見可能性や結果回避の可能性がないことが多く、不可抗力として法律上の賠償責任が生じないことが一般的です。但し、事故状況等をふまえて個別に判断する必要がありますので、保険会社に相談して下さい。

子供（責任無能力者）に起因する事故

Q6歳の子供がいたずらでバットを振り回し、隣家の窓ガラスを割った。

A6歳の子供は、責任能力がなく賠償責任を負いませんが、親の監督責任を問われ、支払い対象となります（親が被保険者となります）。子供の責任能力は何歳から備わるか、確実に何歳といえる年齢はなく、裁判では12～13歳くらいとされています。

ペットに起因する事故

Q飼う犬を散歩させていたところ、通行人に噛みついてしまった。

A動物の管理に不注意があり、支払い対象となります。但し、通行人にも不用意に手をだすなどの不注意があれば、過失相殺も考えます。



新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、人々を元気づけようとエアレースパイロットの室屋義秀氏が小型プロペラ機で描いた笑顔マーク(8/21 山形市)

スポーツに起因する事故

Qバレーの試合中、レシーブをしようとしたところ、他の選手とぶつかり他の選手を負傷させてしまった。

A原則、支払い対象となりません。スポーツ中の事故については、その競技の規則に反することがなく、通常許容された行動である場合には、違法性が否定され法律上の賠償責任が発生しません。但し、事故状況をふまえて個別に判断する必要がありますので保険会社に相談して下さい。

自転車に起因する事故

Q自転車の運転を誤って、停車中の乗用車に突っ込み、車のテールランプを壊してしまった。

A支払い対象となります。但し、被害車両の停車位置などの状況によっては相手方の責任が生じる可能性があります。

日常生活に起因する事故

Q友人の車から降りるためにドアを開けたところ、隣に駐車中の車のドアに接触して隣の車のドアを傷つけてしまった。

A車を降りる際にドアを開ける行為は、自動車の所有・使用または管理に起因する行為に該当するため支払対象となりません。

よくある問い合わせ

Qお見舞いは必要？保険の対象になる？

A事故の相手に誠意を尽くすことは、事故解決への第一歩となりますので、お見舞いをお願いします。なお、お見舞いという行為は法律上の賠償責任として負担するものではありませんのでお見舞品の代金については、賠償責任保険では対象となりません。

(S J 資料抜粋)

【編集後記】

将棋の藤井聡太棋聖(18)が8月20日木村一基王位(47)と対戦していた「王位」戦7番勝負を4連勝でタイトルを獲得。棋聖・王位のタイトルを獲得、併せて8段位に昇進した。18歳1ヶ月で将棋の8大タイトルのうち2つを獲得したことも、8段昇段も史上最年少記録であり、全タイトル獲得も夢ではない。

コロナで沈滞ムードの中、明るいニュースとして多くの人達に希望と夢を与えてくれている。

若さで言えば囲碁の世界でも中邑堯(すみれ)ちゃんが昨年10歳でプロ入り、プロ相手に年間17勝7敗と大活躍している。スポーツ界でも若人の活躍が目覚ましい。